

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT 機器を活用し視覚的な教材を基調とした授業展開を行い、学ぶ意欲を喚起することができた。
- ・タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設け、学習の定着を図る取り組みを実施できた。

(2) 課題

- ・各学年「基礎」の定着が課題である。
- ・「基礎」の定着の上で「活用」の力の向上を図ることが課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽		
第2学年	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽ (第1学年時)	
第3学年	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △ (第2学年時)	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 = (第1学年時)

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	授業に意欲的に取り組んでいる一方で、学習習慣の定着等に課題がある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	授業に意欲的に取り組んでいる一方で、学習習慣の定着等に課題がある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	授業に意欲的に取り組み、学習に臨んでいる。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレットを用いた反復学習やワークや小テスト等を通して知識の定着を図る。単元ごとの振り返りやまとめの作業(タブレット学習)を通して、既習事項の再確認をする機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章やレポート形式でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の授業への意欲を喚起する。自ら設定したテーマで調べ学習を行うことで、主体性をはぐくむ。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレットを用いた反復学習やワークや小テスト等を通して知識の定着を図る。単元ごとの振り返りやまとめの作業(タブレット学習)を通して、既習事項の再確認をする機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章やレポート形式でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の授業への意欲を喚起する。自ら設定したテーマで調べ学習を行うことで、主体性をはぐくむ。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレットを用いた反復学習やワークや小テスト等を通して知識の定着を図る。単元ごとの振り返りやまとめの作業(タブレット学習)を通して、既習事項の再確認をする機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章やレポート形式でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の授業への意欲を喚起する。自ら設定したテーマで調べ学習を行うことで、主体性をはぐくむ。